

農業用水の熱源利用に関する導入適地マップの開発

○ 岩本 淳（八千代エンジニアリング，正），主原 加菜・富樫 聡（八千代エンジニアリング），後藤 眞宏（農研機構）

農業用水の熱源利用に関する導入適地マップの開発を目的として，熱交換量の評価手法を構築しモデル地域に適用した。その結果，熱交換量は冷暖房ともに上流ほど大きく導入に適していることが明らかになった。また，土地改良区へのヒアリングより，農業用水熱の活用ニーズはあるが社会実装には課題があることが明らかになった。